

科目名	社会教育計画論Ⅰ	
担当者	松下 尚明 / MATSUSHITA, Naoaki	
科目情報	人間文化<関連> / 選択 / 前期 / 講義 / 2単位 / 3年次	
	集中講義	
科目概要	授業内容	生涯学習時代に地域で展開されている学習活動・実践活動等の具体的な様相並びにそれを支える論理を学び、望ましい社会教育計画立案の視点と方法を修得する。
	到達目標	① 「社会教育」の問題意識はどのように発生するか理解する。 ② 現場の社会教育が当面している課題を理解する。 ③ 社会教育計画立案の望ましい視点と方法を理解する。 ④ テキスト熟読により、講義と現場とを関係づけられる。 ⑤ 小論文作成により、社会教育的発想による表現ができる。
授業計画	(1) 社会教育計画の問題意識 (2) 社会教育主事の発想法 (3) テキスト熟読[まえがき・第1章]・討論 (4) 地域を支える主体に関する小論文①作成 (5) 地域社会の学び・学校の学び・地域の教育力 (6) 変革期における学びと実践 (7) テキスト熟読[第2章]・討論 (8) 地域の文化に関する小論文②作成 (9) PTA組織論と計画論 (10) 地域女性団体と活動計画 (11) テキスト熟読[第3章]・討論 (12) 地域社会教育と政治に関する小論文③作成 (13) 地域変動に対応するコミュニティ計画 (14) 社会教育学級・講座のプログラム論 (15) テキスト熟読[第4章]・討論	
自学自習	事前学習	・「使用教材(テキスト)の指定章を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・翌日には、書き上げた小論文を提出すること。
使用教材・参考文献	【教】松下 尚明 『地域と文化』 2004年 鹿児島学術文化出版 【参】 そのつど、コピーにて紹介する。	
成績評価方法と基準	〈方法〉試験(40%)受講態度(20%)、小論文(20%)、課題(20%)とします。 〈基準〉小論文3本と課題1本の提出を最低基準とします。	
備考	① 毎時間の講義内容に対する評価表を提出してもらう。 ② 講義内容に対する批判・意見表明を大歓迎する。	